

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内共有、実践している。	●		・経営理念は、HPに掲載し、社内外に向けて発信している。 ・年度初めに、経営理念や年度計画・方針・目標を社員に丁寧に説明している。											8	9							17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・社長が、関連する法律を社員に周知し、日常の業務の中で遵守されているか監視している。																			16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・飼料の仕入れ先、卸先との不法行為が行われないよう、社員に周知し、見積書や納品書のチェックをしている。														10						16
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・担当者として代表取締役を任命している。 ・事業活動が、社会・環境に及ぼす影響(可能性)を把握している。 ・社長が常に先頭に立って、ステークホルダーと対応できるようにしている。																				16
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・商品の登録商標など、注意を払っている。 ・自社の知的財産の保護だけでなく、他社の知的財産を侵害しないよう、社員に周知している。									8.2 8.3	9										16
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・従業員および利害関係者の個人情報は取り扱う社員を限定し、適切に取り扱っている。																				16
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	●		・地域との共生を意識し、環境へ配慮した生産システムに取り組んでいる。 ・地域住民の声を真摯に受け止めるようにしている。場合によっては事前説明会を開催することになっている。																			16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●							5				8		10		12	13	14	15	16	17		
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●												9		11		13.1					16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●											8	9										17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●					1	2		5		8					12	13	14	15	16	17		
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制を整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・差別に繋がるような噂やハラスメントに対しては、社長が社員にヒヤリングして真偽を確認することで、発生防止に取り組んでいる。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3								16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な職場環境の整備に取り組んでいる。	●		・社内巡視や社員の声をもとに、安全で衛生的な職場環境の整備に取り組んでいる。 ・朝礼において、社員の表情を見ながら、健康面、交通安全、作業中の遵守事項を確認している。				3				8.8												
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金の原則に沿って対応している。	●		・同一労働同一賃金の原則に則り、社員の公正な待遇を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3										
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・残業時間の抑制により、長時間労働の防止に取り組んでいる。 ・早く帰ることや有休の取得により、仕事とプライベートのメリハリをつけるよう推進している。 ・勤務時間の調整や在宅ワークの導入にも取り組んでいる。				3	5.5			8.5 8.8		10.3										
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・大型特殊免許やフォークリフト免許など、仕事に必要な資格の取得については、就業時間内での学習を認め、経費支援をしている。					4	5.5		8	9											
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		・年1回の健康診断は経費補助をしており、毎年受診するよう管理・催促している。							3		8											17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・人材不況の中、高齢者の継続雇用や女性の採用はもちろんのこと、未経験者も活躍できる環境を整備している。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3									16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・働きやすい環境整備として、労働時間の調整や在宅勤務ができる環境を整備している。 ・Web会議を積極的に活用することで移動や情報収集の効率化に取り組んでいる。				3				8	9.1		11	12								
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・全農のクラウド「養豚ソフト:PIGS」を活用している。 ・農場にPCを設置し働き方改革を推進している。								8	9.1		11	12								
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●						3	4			8	9			12								

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名： 有限会社角田農場

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・事業所から排出される廃棄物は免許を持った業者と契約し、適切に処理している。 ・事業所から排出される有害化学物質を把握し、適切な管理及び処理をしている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1						
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・請求書によりエネルギー使用量を把握している。 ・事務所では省電力型エアコンを導入し、節電に取り組んでいる。 ・事務所だけでなく農場の照明はすべてLEDを使用した物に入れ替えている。								7.3						13							
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・環境省の「簡易計算シート」を使用してCO2の排出量を管理している。 ・省電力型エアコンの導入、照明のLED化により、間接的にCO2排出の抑制に取り組んでいる。 ・将来に向けて、養豚で排出されるCO2削減として、飼料給与に取り組んでいる。		2.4									7.2 7.3 7.a		12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・事業で排出されたゴミは分別し、適切に処理を行うことで、環境（生物多様性や生態系）に悪影響を及ぼさないように配慮している。 ・農場の周辺に木を植えることで景観が良くなるように取り組んでいる。						6.6									14	15					
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		・飼料の使用量に応じて梱包量を変えている。大量（500kg）に使うものなどは袋自体を再利用している。 ・廃棄物処理に関しては、リサイクルに力を入れている業者を選定している。										9.4				12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・事業所では「節水」のために、節水器具を使用したり、「節水」の張り紙で意識付けしている。 ・定期的に用水路（田んぼ）の草刈りをしている。			2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b						11.5			14.1 14.2 14.3	15			17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）。	●		・ブランド豚「未来豚」は、熊本の自然の中、おいしい空気と阿蘇山の伏流水で育てるなど「環境保全型農業」に取り組んでいる。 ・事務所で使用するコピー用紙や文具はグリーン購入商品を優先している。											9.4			12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		・飼料として、販売できず廃棄に回されるパンくず、小麦粉を有効活用している。		1	2				6.4								12.3	14	15			17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●																11.6 11.7	13.1 13.3		15			17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●											7.1 7.2 7.3 7.a	9.4		11.5		13.1 13.3							
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・“伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6						9.4	11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●									6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●																12.2 12.5		14					
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●													9.4		11.2		13.1 13.3						
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●											7.1 7.2 7.3 7.a	9.4		11.6 11.a	12.8	13						17.17		

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名： 有限会社角田農場

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17のゴールと169のターゲット)																														
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17														
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・薬剤の休業期間（出荷までの期間管理）、投薬方法、注射針の現物管理（使用後含む）を厳守している。 ・個体の適正体重の計測を管理して出荷している。												3.9		9				12.4													
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・農場においては、社員に分かりやすい表示（看板、文字の大きさ）、ぬかるみ解消など負担をかけないように配慮している。															9.1	10	11.7													17	
	39	【地域資源】 ・産地地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	・飼料の調達において、業界の仲間と情報交換し、可能な限り県産（県内で製造）の物を優先的に利用している。										7.3	8	9					11.a	12.3	13	14	15								17		
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●											7									12.2	13.1		15									
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17											
42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●															2.3 2.4		8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15							17		
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・年3回地元（植木町豊田）の清掃活動を実施している。 ・自治会（植木町豊田）で開催されるバーベキュー大会にお肉を提供している。 ・地元小学校の「ふれあいフェスタ」のバザーにお肉を提供している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17														
	44	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・自然災害時に、社員が無事に帰宅できるように、帰宅経路のハザードマップを確認するよう周知している。				4													11.5		13.1								16				
	45	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●				1.5			3	4												10.2	11.5		13.1						16	17		
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●													9								11	12	13.1									
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17												
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・地元の大学生（東海大学）のインターンシップを、積極的に受け入れ、仕事の理解に繋げている。																4				8.6		10.2								17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●																	4.4														17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●							2																								17	

25

25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。